

# カーボニル鉄系コア

## 【通信機器用トロイダルコア】

### 1. 材料特性

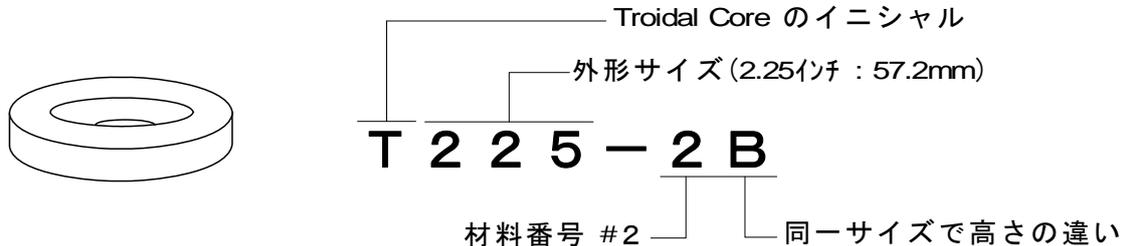
カーボニル鉄は、特に温度特性及び磁束レベルに対して非常に安定しており、200MHz までの高周波帯域で優れたQ特性を有しております。

材質No.	材料名	透磁率 ( $\mu_0$ )	温度特性 (+)	材料の インダクタンス 公差	共振回路での 推奨周波数帯域 (MHz)	カラー コード
1	カーボニル C	20	280ppm/°C	±10%	0.15 ~ 2	青/灰
2	// E	10	95	±5%	0.25 ~ 10	赤/灰
3	// HP	35	370	±10%	0.02 ~ 1	灰/灰
4	// J	9	280	±5%	3 ~ 40	青/白
6	// SF	8.5	35	±5%	2 ~ 30	黄/灰
7	// TH	9	30	±5%	1 ~ 20	白/灰
8	// CQ4	35	255	±10%	0.02 ~ 1	赤/黄
10	// W	6	150	±5%	10 ~ 100	黒/灰
15	// GS6	25	190	±10%	0.1 ~ 3	赤/白
17	カーボニル	4	50	±5%	20 ~ 200	青/黄
42	Hydrogen Reduced	40	550	±10%	0.03 ~ 0.80	青/赤
0	フェノール系	1	0	N/A	50 ~ 350	茶/茶

推奨周波数帯域は最大Q時のものですが、広帯域トランス等の必ずしも高いQ特性を必要としない用途に於いては、表示周波数の10倍から100倍の周波数範囲で使用が可能です。\* 非直線性

#8 … 40~250 MHz      #2 … 150~300 MHz      #6 … 200~400 MHz  
#10 … 300~700 MHz      #0 … 350~1 GHz

### 2. 品番の説明及び形状



### 3. 外装仕上げ

Tシリーズのトロイダルコアは、それぞれ材質の全表面にカラーコーティングを施してありコーティングの絶縁耐圧は 250V/min であります。

T5及びT7サイズでは、形状が極めて小さい為にカラーコード表示はありません。

### 4. 使用温度範囲

カーボニル系コアは比較的高いキュリー温度を有しており、-55°C ~ +125°C迄広範囲に使用できます。

但し、使用温度領域が 85°Cを超える高温で使用する場合 10 ページの 85°C及び 125°Cに於ける経時変化また使用頻度等を考慮の上、最良のサイズ材質をご使用ください。